



2021年9月7日

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
wpd AG

西海江島洋上風力発電事業の共同事業化について

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹内一弘、以下「JRE」）が開発を進めている西海江島洋上風力発電事業（以下、「本事業」）に、今般、wpd AG グループ（本社：ドイツ連邦共和国ブレーメン市、CEO：Dr. Gernot Blanke、以下「wpd」）が出資参画および共同開発することになりましたので、お知らせいたします。

本事業は、長崎県西海市江島沖に、最大出力規模 29.95 万 kW の洋上風力発電所を建設し、運営するものです。現在は、地域の皆様をはじめ関係各所と対話を行いながら、環境影響評価などの各種調査を進めております。

なお、当該事業計画区域は、昨年 7 月に経済産業省及び国土交通省より、再エネ海域利用法における「協議会の組織等の準備に着手する有望な区域」と整理され、現在、促進区域の指定に向けて協議会が開催されております。

JRE と wpd は、それぞれが持つ再生可能エネルギー事業の開発・運営における知見と経営資源を活用し、安定した電力供給を行う体制を築くことで、本事業の実現性をこれまで以上に高めることができると考えております。地域の皆様他との対話を続けながら、本事業を推進し、再生可能エネルギーの普及と地域への貢献、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

JRE について

JRE は 2012 年に「再生可能エネルギーで世界を変える」というミッションのもとに設立されました。地域のご理解を得ながら、58 の発電所（太陽光・風力・バイオマス）を運営または建設し、洋上風力発電を含む複数の大型案件を計画しております。再生可能エネルギーを通じて環境や社会の課題の解決、脱炭素で持続可能な社会の実現を目指しています。

<https://www.jre.co.jp/>

wpd について

wpd は、陸上・洋上風力および太陽光発電所の開発から運転までを行なう会社で、世界 28 か国で積極的に事業展開しています。

本社はドイツのブレーメンにあり、1996 年の創業以来、風車 2,400 基、総出力 5,150MW の風力発電所を完成させ、さらに現在、陸上風力 12,300MW、洋上風力 13,800MW、そして太陽光 1,650MWp のプロジェクトを全世界で開発・建設中です。

wpd は洋上風力発電に於いてパイオニア企業でありトップ プレイヤーです。同グループはドイツに3つの洋上風力発電所を完工しており、現在は台湾で640 MW 発電所の完工に向けて建設中、2020年と2021年にはフランス沖で2つの洋上プロジェクトに着工しています。同社は欧州とアジアで14 GWの洋上風力発電プロジェクトを開発・建設中です。

<https://www.wpd-japan.jp/>

本件に関するお問い合わせ先：

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

広報 CSR 部

電話：03-6455-4905 e-mail：pr@jre.co.jp

wpd ジャパン株式会社

代表取締役 可兒民夫

電話：03-4520-8600

e-mail：t.kani@wpd-japan.jp

wpd AG

Christian Schnibbe, Head of Communication

Phone: +49 (421) 16866-10

e-mail：c.schnibbe@wpd.de

別紙

【本事業の概要】 ※現時点での予定のため、今後変更になる可能性がございます。

事業名	西海江島洋上風力発電事業
事業会社名	合同会社西海江島沖洋上風力
出資会社	ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（代表社員、業務執行社員） Saikai Enoshima Beteiligungs GmbH（業務執行社員） (wpd AG の 100%子会社)
出力規模	最大 29.95 万 kW（1.4～1.5 万 kW 級風力発電機を最大 24 基程度設置）
運転開始	2028 年度

【事業実施区域】

